

令和2年第5回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

令和2年9月24日（木）～ 9月28日（月）

（場所：宝塚市議事堂）

発言順位	発言者	質問方式	発言時間	予 定 日 時	
1	山本敬子	一問一答式	45分	9/24 (木) 8人	9:30～10:15
2	横田まさのり	一問一答式	45分		10:15～11:00
3	岩佐まさし	一問一答式	30分		11:15～11:45
4	北野聡子	一問一答式	45分		12:50～13:35
5	田中こう	一問一答式	45分		13:35～14:20
6	風早ひさお	一問一答式	45分		14:35～15:20
7	池田光隆	一問一答式	45分		15:20～16:05
8	石倉加代子	一問一答式	25分		16:20～16:45
9	村松あんな	一問一答式	45分	9/25 (金) 8人	9:30～10:15
10	田中大志朗	一問一答式	45分		10:15～11:00
11	川口潤	一問一答式	40分		11:15～11:55
12	伊庭聡	一問一答式	45分		13:00～13:45
13	くわはら健三郎	一問一答式	40分		13:45～14:25
14	三宅浩二	一問一答式	45分		14:40～15:25
15	浅谷重紀	一問一答式	45分		15:25～16:10
16	たぶち静子	一問一答式	45分		16:25～17:10
17	となき正勝	一問一答式	45分	9/28 (月) 7人	9:30～10:15
18	梶川みさお	一問一答式	45分		10:15～11:00
19	大川裕之	一問一答式	45分		11:15～12:00
20	江原和明	一問一答式	45分		13:00～13:45
21	大島淡紅子	一問一答式	45分		13:45～14:30
22	寺本早苗	一問一答式	30分		14:45～15:15
23	北山照昭	一問一答式	45分		15:15～16:00

※各質問の予定日時につきましては、議事の進行状況により前後することがあります。

(注) 表中、議員名下の () は質問形式

順位	議員名	件名
1	山本 敬子 (一問一答式)	<p>1 宝塚市内のコロナ禍対応と経済対策について</p> <p>(1) 宝塚市の新型コロナ発生状況のホームページ公表の課題について</p> <p>ア 他市公表と比べて、あまりに簡単過ぎるとの市民からの苦情を聞くが、宝塚市はなぜ内容のしっかりとした公表ができないのか、またその理由は</p> <p>(2) G o T o トラベル等の宝塚市への経済効果は</p> <p>ア 宝塚歌劇の影響と、観光の宿泊や飲食・買い物等の状況は</p> <p>イ P a y P a y 2 5 % 還元の市内への効果と他市との比較は</p> <p>ウ コロナ禍において、市内の今後の経済対策は</p> <p>2 宝塚市の花卉の歴史について</p> <p>(1) 宝塚市の花卉について</p> <p>ア スミレのきもち</p> <p>(ア) ダリアを市花にしたときの、スミレの扱いをどうするのか</p> <p>(イ) フラワー都市交流は、ダリアにするのかどうか</p> <p>イ ダリアのきもち</p> <p>(ア) ダリア園の今後の啓発周知について</p> <p>(イ) 訪問者に対してのサービス事業について</p> <p>ウ 牡丹のきもち</p> <p>(ア) 高齢化が進む西谷地域だが、宝塚市立長谷牡丹園指定管理の存続を、宝塚市として今後どう運営していく方針か、方向性は</p> <p>3 市役所周辺の交通事情改善に向けて</p> <p>(1) 恒常化している市役所前交差点の渋滞だが、市として改善方法をどう考えているか</p> <p>ア 武庫川沿いの道路を通行可にして、交通渋滞の緩和はできないか</p> <p>(2) 宝塚健康福祉事務所(シニアカレッジ)側の導入路が、非常に分かりにくく通り過ぎてしまう、と市民からの声を聞くが、入り口を分かりやすくできないか</p> <p>ア 入り口部分を広げる、または表示を大きくすることはできないか</p>
2	横田まさのり (一問一答式)	<p>1 子どもの貧困対策の拡充に向けて</p> <p>(1) トータルな支援を構築するために</p> <p>ア 庁舎内、また関係機関や子ども食堂など地域団体との連携の構築のためにできることは</p> <p>イ 今後創設が予定されている総合相談における専門性と役割について</p> <p>2 コロナの第3波に備えて</p> <p>(1) 感染症法に基づいた分類において新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類相当になった場合の危険性に関する市の見解は</p>

		<p>(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大と同時期に流行が予想されるインフルエンザに対し、予防接種を受けやすくするため市が検討していることは</p> <p>3 豪雨対策について</p> <p>(1) 小浜地域の浸水対策の現状について</p> <p>(2) 市内において想定外の雨量に対する取組は</p> <p>ア 雨水タンクの普及について</p> <p>イ 校庭貯留の効果について</p>
3	岩佐 まさし (一問一答式)	<p>1 公平性・透明性のある公共工事の発注基準について</p> <p>(1) 業者選定の基準について</p> <p>(2) 災害時の水防活動業務に積極的に参加している業者への対応について</p>
4	北野 聡子 (一問一答式)	<p>1 「ありのままに自分らしく生きられるまち宝塚」の取組について</p> <p>(1) パートナーシップ制度のさらなる拡充や、制度を実施する近隣市との広域連携を図っていくことを検討してはどうか</p> <p>(2) 学校園現場においても、子どもの権利擁護やジェンダー平等のために、研修の拡充、教職員用リーフレットの改訂などが必要ではないか</p> <p>2 夜間中学について</p> <p>(1) 兵庫県内公立夜間中学の入学について行政間の連携の現状は</p> <p>(2) 夜間中学で学びたい人と、既卒者であっても学び直しを希望する人の就学サポートをどのように進めていくのか</p> <p>3 小林地域の交通安全対策と歩道整備について</p> <p>(1) 小林地域の市道226号線等の、抜本的な交通安全対策はできないか</p> <p>(2) 小林駅や商店街周辺の歩道の危険箇所について早急な改善策が必要ではないか</p>
5	田中 こう (一問一答式)	<p>1 新型コロナから市民の「いのちとくらし」を守るために</p> <p>(1) 必要な人全てが受けられる生活保護へ</p> <p>ア 厚労省のリーフレットに「生活保護申請は国民の権利」という一文が加わったことの意義は</p> <p>イ 10月からの保護費削減に対する市の見解は</p> <p>ウ 生活保護利用者の健診率向上を</p> <p>(2) 生活困窮者自立支援相談について</p> <p>ア 昨年と比較した相談件数は</p> <p>イ 今後の相談体制は</p> <p>(3) 自殺防止に全力を</p> <p>ア 今年度の自殺予防週間(9月10日～16日)、自殺対策強化月間(3月1日～31日)の取組は</p> <p>イ 「やさしいたからづか ほっとライン」について、設置から1か月の評価は</p>

		(4) 飲食店への必要な施策を
6	風早 ひさお (一問一答式)	<p>1 新型コロナウイルス感染症に伴う高齢者の健康対策について</p> <p>(1) 外出自粛による高齢者の健康被害の現状認識と対応について</p> <p>(2) 住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築の課題について</p> <p>ア 「通い」と「訪問」、「宿泊」の介護サービスを柔軟に組み合わせる「小規模多機能型居宅介護」の設置状況について</p> <p>イ 地域包括支援センターの役割整理とマンパワー拡充について</p> <p>2 これからの行政に必要な「EBPM (Evidence-based Policy Making、エビデンスに基づく政策立案)」について</p> <p>(1) 内閣府が運用しているビッグデータを集約し客観的なデータに基づく形で地域の現状や課題を把握できる「地域経済分析システム(リーサス)」の利活用について</p> <p>(2) 多様化複雑化する社会課題の解決に効果的な施策を打ち出すための「データ基盤の一元化」の必要性についてどう考えているのか</p>
7	池田 光隆 (一問一答式)	<p>1 宝塚市における地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について</p> <p>(1) 本市が地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)を国へ申請した経緯について</p> <p>ア 本市として今後、どのようにこの制度を活用していくのか(計画に位置づける事業内容に対して短期的な財政支出なのか、中長期的な財政支出に活用するのか)</p> <p>イ 地域再生計画の区域は宝塚市全域なのか</p> <p>ウ 寄附額の下限は10万円とあるが、上限額の設定はあるのか</p> <p>(2) 寄附金額の目安(設定金額)である10億円を達成するための市の戦略について</p> <p>ア 計画期間累計(2億円/年×5か年)としての根拠と達成するための政策的計画はあるのか</p> <p>2 民間との包括連携協定について</p> <p>(1) 民間との包括連携協定における本市の考え方について</p> <p>ア 本市として民間との包括連携協定において今後どのようなフェーズを想定しているのか</p> <p>イ 阪神間各市町及び兵庫県内における民間との包括連携協定の動向及び検証について</p>
8	石倉 加代子 (一問一答式)	<p>1 新設された患者サポートセンターについて</p> <p>(1) 患者サポートセンターの相談体制や支援体制などについて</p>
9	村松 あんな	1 全ての入所希望者が放課後児童クラブを利用できる環境整備

	(一問一答式)	<p>(1) たからっ子育てプランにおける推計の検証とPDC Aサイクルについて</p> <p>(2) 待機児童解消に向けた課題の把握について</p> <p>(3) 長期休業期間中の校区外利用について</p> <p>2 宝塚市妊婦特別支援給付金と追加支援</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により生じた不用残・執行残について</p>
10	田中 大志朗 (一問一答式)	<p>1 宝塚市の上水道の深刻な状況について</p> <p>(1) 令和元年度の約9億円の赤字決算、令和2年度の約3億円の赤字予算についてどのような認識を持っているか、経営責任は感じているか</p> <p>(2) 赤字決算、赤字予算の原因は何か、今後の見通しは</p> <p>(3) 今まで、経営の健全性を維持するための努力として、どのようなことがなされてきたか</p> <p>(4) 今後の経営再建の道筋として、どのようなことを考えているか、水道料金値上げの可能性は</p> <p>2 宝塚市の財政の深刻な状況について</p> <p>(1) 毎年の歳入歳出の推移を見ると、歳入の方が歳出よりも多く、順調に黒字決算を重ねているように見えるが、それなのに、市債発行残高が減らず、財政調整基金のとりくずしまで行っているのはなぜか</p> <p>(2) 実質公債費比率3.6%、将来負担比率22.6%、経常収支比率96.9%について、どのように認識されているか</p> <p>(3) 類似団体比較カードによれば、当市は類似の地方公共団体と比較して、民生費の支出割合が高く、土木費や教育費の支出割合が低くなっているが、その理由は何か またこれによって生じている問題は何か</p> <p>(4) このコロナ禍によって、来年度以降の財政状態は今までとは劇的に異なるものと予想されるが、当局ではどのような状況を想定しているか</p> <p>(5) 当市の長年の懸案事項であるごみ処理場の建設は予定どおり可能か 基金の積立て不足のため、建設を延期せざるを得なくなるのではないかと</p>
11	川口 潤 (一問一答式)	<p>1 多胎児支援の充実を</p> <p>(1) 宝塚市の現状について</p> <p>ア 双子や三つ子などの多胎児は100人に1組と言われている 本市の近年の傾向は</p> <p>イ 現在の本市における多胎児支援について</p> <p>(2) 保育所と一時保育について</p> <p>ア 保育所入所時の加点条件に「多胎児加点」を設置してはどうか</p> <p>イ 一時保育に「多胎児優先枠」を設定してはどうか</p> <p>2 子どもや保護者の声を生かし、よりよい教育現場に</p> <p>(1) 昨年9月市議会で質問した「体罰・暴言を含む部活動の実態調査」の進</p>

		<p>渉は</p> <p>3 安心して利用できる市役所に (1) 「窓口サービス課」を中心として混雑状態が気になるが、密状態の解消のための対応・対策は また、他市で導入しているような「メールによる呼出しサービス」についての見解は</p>
1 2	伊庭 聡 (一問一答式)	<p>1 緊急事態宣言時の【子どもたちの食】に対して (1) 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令された時の子どもたちの食に対しての市の対応について</p> <p>2 今後の対応について (1) 今後新型コロナウイルスのような、想定していない感染症が起こった場合に市として、子どもたちの食事の対応をどのように考えているか</p>
1 3	くわはら健三郎 (一問一答式)	<p>1 大堀川沿川地域の浸水被害対策について (1) 武庫川水系河川整備計画のうちの大堀川の河川改修事業について（県の取組） ア 進捗状況は イ 昨年12月の県議会での副知事答弁「2年前倒しで完成させる」の意味をどう捉えているか (2) これまでに市が行ってきた浸水被害対策について（市の取組） ア 進捗状況は イ 今後取り得る対策として考えられることは ウ 浸水地域の河川改修を市の単独事業としてでも実施する熱意を エ 市長自ら被災後の現地視察を</p> <p>2 新型コロナウイルスの影響下における文化団体等への支援について (1) 文化・芸術都市をうたう本市において、商工業と同様に多大な影響を受けている文化芸術に携わる方々への支援を今後どのように進めていくのか (2) 商工業と文化芸術の相乗的な取組の検討を</p>
1 4	三宅 浩二 (一問一答式)	<p>1 コロナ禍における避難について (1) 新たな避難方法について ア 在宅避難 イ 分散避難 ウ やむを得ない車中泊 (2) 自主避難場所について ア 7か所に絞った理由は イ 7か所とは別に中央公民館が追加された理由は (3) 台風10号における避難行動からみえた今後の課題について ア 定員を超える避難者対応</p>

		<p>(4) 市民との協働による避難所運営について</p> <p>ア 早急に地域の防災組織との協議が必要</p>
15	浅谷 亜紀 (一問一答式)	<p>1 これからのまちづくりにおける「地域差」と、公平性を担保する手だてについて</p> <p>(1) 第6次総合計画に位置づける「地域ごとのまちづくり計画」にある「地域」にはそれぞれ特性があり、教育・福祉・コミュニティ等「地域」内の公共施設数には違いがあることから、子育て支援や高齢者福祉など公的サービスの受けやすさ及び地域活動のしやすさ等に差が生じると考えられるが、市の見解は</p> <p>(2) 市は、どの「地域」でも全ての世代の市民が生き生きと暮らすための支援を同じように受けられるべき観点から、これからのまちづくりにおける「地域」の公平性をどのように担保するのか</p> <p>2 危機管理など行政課題対応に有効なSNSの活用について</p> <p>(1) 現在の宝塚市LINE公式アカウントのサービス内容と登録者数は</p> <p>(2) 今後、危機管理などLINEのさらなる有効な活用について、どう考えるか</p>
16	たぶち 静子 (一問一答式)	<p>1 教育について～子どものころに寄り添う学校へ～</p> <p>(1) 宝塚自然の家について</p> <p>ア 森林環境譲与税を使ってどのように整備していくのか</p> <p>イ 本格的な再開に向けての取組について</p> <p>(2) コロナ禍の学校の現状と課題について</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症の影響について</p> <p>イ 宝塚市のマニュアルについて</p> <p>ウ 熱中症対応について</p> <p>エ 少人数学級について</p> <p>オ スクール・サポート・スタッフについて</p> <p>(3) 学校施設の整備について</p> <p>ア 学校・園の大規模改修についてどのような順番で決めているのか</p>
17	となき 正勝 (一問一答式)	<p>1 新型コロナウイルス感染症の第3波に備えて</p> <p>(1) PCR検査体制の充実を</p> <p>ア 本市の状況（検査実施件数、医師からの要請を断った件数）は</p> <p>イ 本市医師会が検査センターを設置することになったが、他都市ではさらなる取組をしている事例もある</p> <p>本市でも積極的な取組をすべきではないか</p> <p>2 利用者、近隣住民が気持ちよく武庫川河川敷公園を利用できるように</p> <p>(1) コロナ禍において利用者が増加していることから、利用方法について改めて検討が必要ではないか</p> <p>ア 利用者数の推移は</p>

		イ 利用に当たっての規定等はどうなっているか
18	梶川 みさお (一問一答式)	<p>1 宝塚市水道事業の委託化計画の妥当性について</p> <p>(1) 小浜浄水場と惣川浄水場の夜間と休日のみ民間に委託する理由について</p> <p>(2) 委託化のデメリットについてどう考えるのか</p> <p>(3) 直営のままでの水道事業の課題解決に向けて</p> <p>ア (仮)「経営改善検討委員会」の立ち上げの検討は</p> <p>イ 浄水場を再任用職場にすることについて</p> <p>ウ 水道料金の引上げの検討は</p> <p>エ 組合と誠意を持って交渉をするべきでは</p> <p>2 宝塚市立病院が労働基準監督署から是正勧告を受けた事案について</p> <p>(1) 2016年3月10日の作業環境測定結果が第3管理区分となった原因について</p> <p>(2) 2020年3月10日の作業環境測定結果に対する病院当局の見解について</p> <p>(3) 市立病院が衛生管理特別指導事業場の指定を受けたことについて</p> <p>(4) 公務災害が認定されたことについての病院当局の見解について</p> <p>(5) 病院当局の管理責任について</p>
19	大川 裕之 (一問一答式)	<p>1 市立病院経営改革に向けたマネジメントについて</p> <p>(1) 市立病院経営改革担当参事の権限と今後の役割は</p> <p>(2) 各改革プランで設定した個別指標は一定達成されている中で、平成24年度以降、収益目標が達成されていない</p> <p>その原因をどのように分析しているのか</p> <p>(3) 各改革プランでは、点検・評価についての記載が少なく、モニタリングが重要視されていないように受け取れる</p> <p>これまでどのようにどのぐらいの頻度でモニタリングを行ってきたのか</p>
20	江原 和明 (一問一答式)	<p>1 宝塚市立看護専門学校 の在り方について</p> <p>(1) 宝塚市立看護専門学校のあり方に関する検討委員会の意見としては、廃止すべきという結論ですが、学校校舎建物に関して、建築年数、起債残高、公共施設(建物施設)保有量最適化方針との整合性、解体費用予測は</p> <p>(2) 宝塚市立病院との関係性において、廃止のデメリットはないのか</p> <p>2 宝塚市地域強靱化計画の見直しについて</p> <p>(1) 3月議会の代表質問では、想定する災害について、ドローンの配備について、良い答弁ではありませんでしたが、その後見直しを行ったか</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症対策の各取組について</p> <p>(1) 医療・介護・障がい福祉従事者への慰労金支給の現状について</p> <p>(2) GIGAスクール構想の早期実現に向けての、現状と課題</p> <p>(3) 特別定額給付金の振込件数、振込額及び内訳について</p>

		<p>(4) 宝塚市妊婦特別支援給付金の現状について</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症PCR検査を受けるにはどうしたらよいかという市民からの問合せに対する対応は</p>
2 1	大島 淡紅子 (一問一答式)	<p>1 子どもへの性暴力被害をなくすためには</p> <p>(1) 予防としての性教育の現状は</p> <p>(2) 学校で被害が生じた場合の対応の仕組みは万全か</p> <p>2 真の「開かれた」教科書採択とは</p> <p>(1) 教科書展示会について</p> <p>ア 文部科学省ホームページに「教科書の適正な採択に資するため」とある、また、「都道府県教育委員会は、学校の校長及び教員、採択関係者の調査・研究のため、教科書展示会を行う」ともある</p> <p>ではアンケートの趣旨は何か</p> <p>イ 現在の展示会場は、交通の利便性の観点から妥当か</p> <p>(2) 教科書採択の日程は展示会に合わせて、遅らせるべきではなかったか</p>
2 2	寺本 早苗 (一問一答式)	<p>1 犯罪被害者に真に寄り添った支援を</p> <p>(1) 宝塚市犯罪被害者等支援条例が平成31年3月に全面改正され、犯罪被害者等が受けた被害の回復及び軽減を図る目的でより実効性のある施策が規定された</p> <p>本年6月4日に発生したボーガン殺傷事件を受けて、改めて本市の犯罪被害者支援に対する考え方を問う(条例の理念、市の責務)</p> <p>(2) 国は犯罪被害給付制度の充実に向け、平成30年4月に見直しを行っている</p> <p>うち親族間犯罪被害に係る支給基準の抜本の見直しについて、当局はどのように認識しているか</p> <p>(3) 宝塚市犯罪被害者等支援条例施行規則第42条中の「犯罪被害者等の支援及び助成を行わないことができる」という文言について、どう解釈すべきか</p>
2 3	北山 照昭 (一問一答式)	<p>1 重要事案に対する対処について</p> <p>(1) 8月12日付の県教育委員会への(要望)について</p> <p>(2) 学校長が「重大事態」として上申された事案について</p> <p>(3) 救助訓練中の転落死亡事故について</p> <p>2 宝塚市文化財審議会などからの要望について</p> <p>(1) 旧安田邸建設経緯及び建築物等の専門的調査実施について</p> <p>(2) 雲雀丘地区の文化財登録の進捗状況について</p> <p>(3) 「伝統的建造物群保存地区」指定に向けての取組について</p> <p>3 大堀川の氾濫・浸水対策について</p> <p>(1) 国道下ボックスカルバートの底が高く大堀川の流れを阻害しているが、</p>

第一小浜橋上流区間の整備はどうされるのか

- (2) 県から要請された内水対策（流域治水）としての遊水地整備について
- (3) 尼宝バイパス（尼宝雨水幹線）の流下能力を強力にすることはできないのか
- (4) 湾曲部、米谷・国道水路合流部・黒針橋付近等の堆積土砂のしゅんせつ（除去）を

4 持続可能な行財政運営について

- (1) 「予算見通し」に基づく「66.3億円の資金不足」について
- (2) 将来を見据えた財政基盤構築「基金管理方針」について
- (3) 第3回戦略会議で示された、令和3年度の予算編成について